

課題整理総括表(熊本バージョン)

利用者名 _____ 殿

作成日 _____ / _____ / _____

自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等)		①	②	③	利用者及び家族の生 活に対する意向					
		④	⑤	⑥						
状況の事実 ※1		現在 ※2		要因 ※3	改善/維持の可能性 ※4	※2 の状況・支障の内容等	※4 の判断根拠	見 通 し ※5	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)【案】	※6
移動	室内移動	自立	見守り	一部介助	全介助	改善	維持	悪化		
	屋外移動	自立	見守り	一部介助	全介助	改善	維持	悪化		
食事	食事内容	支障なし		支障あり		改善	維持	悪化		
	食事摂取	自立	見守り	一部介助	全介助	改善	維持	悪化		
	調理	自立	見守り	一部介助	全介助	改善	維持	悪化		
排泄	排尿・排便	支障なし		支障あり		改善	維持	悪化		
	排泄動作	自立	見守り	一部介助	全介助	改善	維持	悪化		
口腔	口腔衛生	支障なし		支障あり		改善	維持	悪化		
	口腔ケア	自立	見守り	一部介助	全介助	改善	維持	悪化		
服薬		自立	見守り	一部介助	全介助	改善	維持	悪化		
入浴		自立	見守り	一部介助	全介助	改善	維持	悪化		
更衣		自立	見守り	一部介助	全介助	改善	維持	悪化		
掃除		自立	見守り	一部介助	全介助	改善	維持	悪化		
洗濯		自立	見守り	一部介助	全介助	改善	維持	悪化		
整理・物品の管理		自立	見守り	一部介助	全介助	改善	維持	悪化		
金銭管理		自立	見守り	一部介助	全介助	改善	維持	悪化		
買物		自立	見守り	一部介助	全介助	改善	維持	悪化		
コミュニケーション能力		支障なし		支障あり		改善	維持	悪化		
認知		支障なし		支障あり		改善	維持	悪化		
社会との関わり		支障なし		支障あり		改善	維持	悪化		
褥瘡・皮膚の問題		支障なし		支障あり		改善	維持	悪化		
行動・心理症状(BPSD)		支障なし		支障あり		改善	維持	悪化		
介護力(家族関係含む)		支障なし		支障あり		改善	維持	悪化		
居住環境		支障なし		支障あり		改善	維持	悪化		
昼夜逆転		支障なし		支障あり		改善	維持	悪化		
医療的管理		支障なし		支障あり		改善	維持	悪化		
						改善	維持	悪化		

※1 本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。
 ※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。
 ※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。
 ※4 1年後における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。

※5 「要因」および「改善/維持の可能性」を踏まえ、**要因を解決するための援助内容**と、それが提供されることによって見込まれる**事後の状況(目標)**を記載する。(介護認定の場合は、**短期目標の設定期間**を見据える)
 ※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題(**合意できなかったニーズ**)には「-」印を記入。
 ○自立した日常生活の阻害要因は、客観的事実に限り、解決にむけて何らかの対策が考えられるものとする。

課題整理総括表(熊本バージョン) 記載例

利用者名 殿

作成日 / /

自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等)		① 脳梗塞によるADL低下(右片麻痺)		②浴室の環境(手すり等がない)		③介護負担(介護者高齢・腰痛)		④		⑤		⑥		⑧ 利用者及び家族の生活に対する意向		⑨ 本人:リハビリを頑張って、家でくらしたい。施設は嫌だ。 家族:私が何とかして、みていきたい。			
状況の事実 ※1		① 現在 ※2				④ 要因※3		⑤ 改善/維持の可能性 ※4			② ※2 の状況・支障の内容等		⑥ ※4の判断根拠		⑦ 見通し ※5		⑨ 生活全般の解決すべき課題(ニーズ)【案】		※6
移動	室内移動	自立	見守り	一部介助	全介助	①③	改善	維持	悪化	歩行が不安定で、一人では移動する際に転倒することがあり、困っている。移動時は家族が両手を引いて介助している。 流し忘れや、服装の整え等、トイレでの排泄後の後始末が不十分であり、家族が一部介助している。 家族が洗身一部介助している。浴槽の跨ぎ動作が困難で、不安な状態で入浴している。介護負担感も強い。 介護者は、現在は元気で、懸命に介護されておられるが、不安をかかえている	筋力は十分あり、福祉用具の習得能力もあり、A(機能訓練をしつつ、歩行補助具を使用)すれば歩行が安定し、転倒を防ぎ、室内を安全に移動できるようになると考えられる。 脳梗塞の病状は安定期にあり、今後もB(専門職による機能訓練)を継続していくが、現状維持が目標となる(PT)。 C(手すり、ベンチの設置や移乗動作訓練)を行えば、浴槽の出入りが今よりも楽になり、安心して入浴できると思われる。D(介護者の状況次第では、訪問介護の利用を行うことで、介護負担が軽減できる。 介護者の年齢(84歳)、認知力(短期記憶)の低下、腰痛(圧迫骨折既往)の状態を考えれば、近い将来、介護力として期待できなくなるおそれが非常に大きい。	①に対し、Aすることで転倒を防ぎ、室内(短距離)移動が自立できるようになる。介護負担も軽くなる。	自分で室内(短距離)を移動できる⇒思うように移動したい	1					
	屋外移動	自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化										
食事	食事内容	支障なし 支障あり					改善	維持	悪化										
	食事摂取	自立	見守り	一部介助	全介助	①	改善	維持	悪化										
	調理	自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化										
排泄	排尿・排便	支障なし 支障あり					改善	維持	悪化										
	排泄動作	自立	見守り	一部介助	全介助	①	改善	維持	悪化										
口腔	口腔衛生	支障なし 支障あり					改善	維持	悪化										
	口腔ケア	自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化										
服薬		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化										
入浴		自立	見守り	一部介助	全介助	①②③	改善	維持	悪化										
更衣		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化										
掃除		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化										
洗濯		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化										
整理・物品の管理		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化										
金銭管理		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化										
買物		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化										
コミュニケーション能力		支障なし 支障あり				①	改善	維持	悪化										
認知		支障なし 支障あり					改善	維持	悪化										
社会との関わり		支障なし 支障あり					改善	維持	悪化										
褥瘡・皮膚の問題		支障なし 支障あり					改善	維持	悪化										
行動・心理症状(BPSD)		支障なし 支障あり					改善	維持	悪化										
介護力(家族関係含む)		支障なし 支障あり				③	改善	維持	悪化										
居住環境		支障なし 支障あり					改善	維持	悪化										
経済面		支障あり					改善	維持	悪化										
							改善	維持	悪化										
							改善	維持	悪化										

※1 本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。
 ※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。
 ※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。
 ※4 1年後における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。

※5 「要因」および「改善/維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることによって見込まれる事後の状況(目標)を記載する。(介護認定の場合は、短期目標の設定期間を見据える)
 ※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題(合意できなかったニーズ)には「-」印を記入。
 ○自立した日常生活の阻害要因は、客観的事実に限り、解決にむけて何らかの対策が考えられるものとする。